

スポーツ総合演習(3年生)

2年次に行った研究発表会（探究学習の成果発表）によってわかったことを活かすために現場に還元することは非常に大切です。

3年生の「スポーツ総合演習」では研究発表の内容を授業に活かしてみよう！という事で、研究授業を行っています。

今回は「音が運動能力に与える影響」、「高校生のアリーナでの観戦者数を増加させる施策の検討」をテーマにした2つのグループが京都きつずの子どもたちを対象にして研究授業を行いました。

※ 京都きつずとは京都府から世界で活躍するトップアスリートを育成する「京の子どもダイヤモンドプロジェクト」の通称で、優れた資質を持つジュニア選手を発掘し、小学4年生から中学3年生までの6年間、一貫した育成プログラムを提供しています。

自分が教える立場になると、技術理論の理解はもちろんのことですが、それをいかにわかりやすく伝えることができるかというコミュニケーション能力が大事になります。今回は中学生以下の児童・生徒が対象なので、なおさら工夫が必要で、貴重な体験をすることができました。

「観戦者数を増やすためにマスコットキャラクター作ろう！」というテーマで京都きつずたちからは色々なアイデアが飛び出し、高校生顔負けの柔軟な発想が溢れかえった時間でした！

